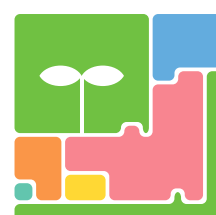


JA共済 🌱 👤 🏠 🚗
地域貢献活動
REPORT 2019



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の
地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

<http://social.ja-kyosai.or.jp/>



JA 共済について

(協同組合、JAグループの一員として)

JAは、相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、
よりよい地域社会を築くことを目的に、
組合員の運営参画により組織された協同組合です。

JA共済は、JAグループの一員として、
ひと・いえ・くるまの総合保障の提供(共済事業)を中心とした活動を通じて
組合員・利用者の皆さまの生活を支えています。

目次

- JA共済の取り組み ————— P2
- JA共済の地域貢献活動 ————— P5
- 営農分野の活動 ————— P7
- 暮らし分野の活動 ————— P9
- ひと分野の活動 ————— P11
- いえ分野の活動 ————— P13
- くるま分野の活動 ————— P15
- 各都道府県の主な活動 ————— P19
- WEBサイトのご紹介 ————— P34

共済事業と地域貢献活動の両輪で

地域の皆さまへ「安心」と「満足」を提供しています。

JA 共済事業の使命

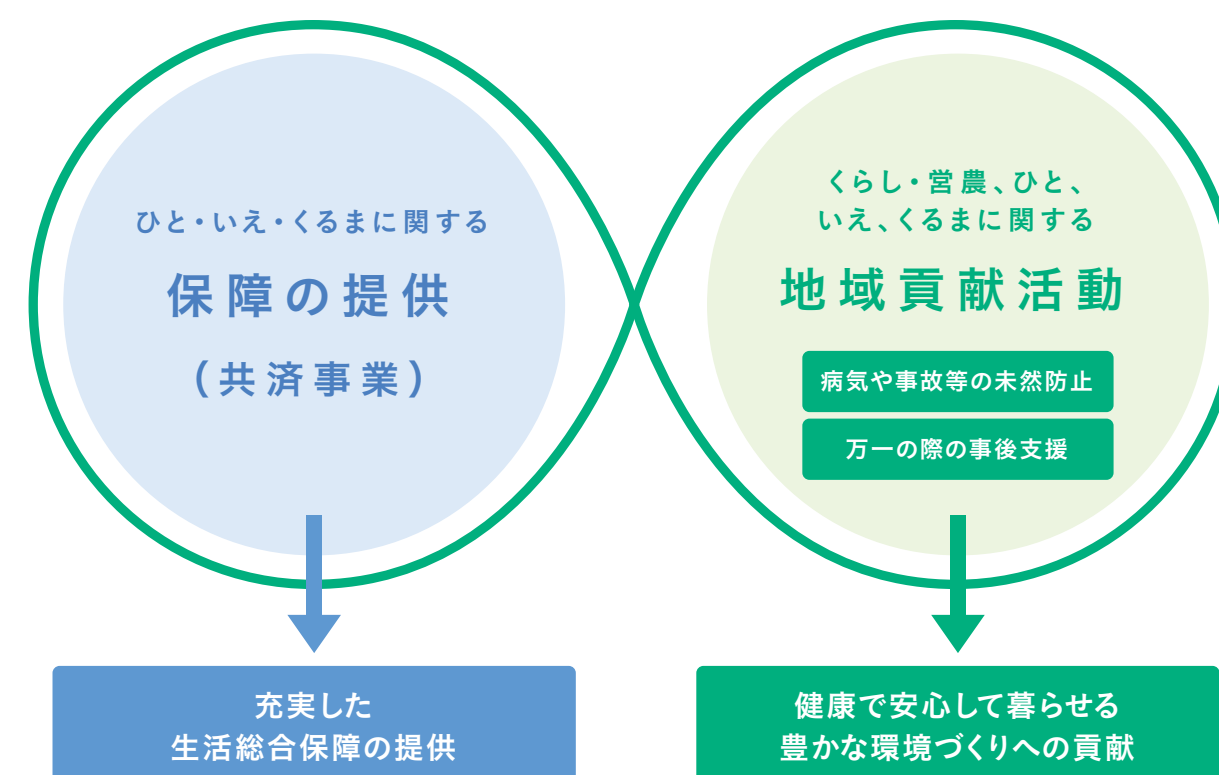
JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、
常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供します。

JA共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の
提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。

JA共済は、事業活動の積極的な取り組みを通じて、
豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献します。

JA 共済の取り組み

JA共済が実施する保障の提供と地域貢献活動(病気や事故等の未然防止と万一の際の事後支援)は
車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げてきました。
これからも保障の提供と地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが
住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきます。



共済事業と地域貢献活動を通じて、
多くの方のお役に立つことができました。

共済事業 ひと・いえ・くるまの総合保障

充実した保障を提供し、
皆さまの毎日の暮らしをバックアップしています。

 ひとの保障	●生命総合共済(保有契約) 加入件数 ————— 2,163万件 保障共済金額 ————— 110兆445億円
 いへの保障	●建物更生共済(保有契約) 加入件数 ————— 1,017万件 保障共済金額 ————— 142兆6,162億円
 くるまの保障	●自動車共済(保有契約) 加入件数 ————— 825万件 ●自賠責共済(保有契約) 加入台数 ————— 665万台
お役に いただいた 共済金	共済金のお支払い 4兆5,483億円 万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いすることで、 多くの皆さまのお役に立つことができました。

■「保有契約」は平成31年3月末時点、「共済金のお支払い」は平成30年度の実績



地域貢献活動 くらし・営農、ひと、いえ、くるまに関する地域貢献活動

健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりのために
さまざまな活動を展開しています。

 くらし・営農 分野の活動	●小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール これまでの応募点数 <書道> ————— 5,757万点以上 <交通安全ポスター> ————— 918万点以上
 ひと 分野の活動	●レインボー体操 これまでの参加人数 ————— 75万名以上 ●笑い与健康教室 これまでの参加人数 ————— 11万名以上
 いえ 分野の活動	●災害シートの無償配布 これまでの配布枚数 ————— 23万枚以上 ●仮設住宅の無償貸与 これまでの貸与棟数 ————— 2,100棟以上
 くるま 分野の活動	●世代別交通安全教室(幼児向け/生徒向け/シルバー世代向け) これまでの参加人数 ————— 267万名以上 ●安全運転診断(シルバー世代向け/全世代向け) これまでの実施回数 ————— 3,000回以上

■平成30年度までの累計実績



地域の皆さまが、 健康で安心して暮らせる 地域社会をめざして

「助け合い」の精神でさまざまな活動に取り組んでいます。



くらし・営農

心の豊かさや絆の大切さを次世代へ伝えるための文化支援活動や生活支援活動、環境保全活動、農業経営に貢献するための農業振興活動に取り組んでいます。

●農業振興活動 ●文化支援活動 ●生活支援活動 ●環境保全活動



農業高校等への支援



食農教育活動の実施



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催



いえ

万が一に備える防災・防火対策活動のほか、自然災害などの被害にあわれた際の救援活動から復興支援活動まで、さまざまな活動に取り組んでいます。

●災害救援活動 ●防災・防火対策活動 ●復興支援活動



災害シートの無償配布



仮設住宅の無償貸与



防災体験イベントの開催

日本の農村では古くから共同体をつくり、お互いに支え合い、助け合って暮らしを営んできました。

「助け合い」の精神こそが、わたしたちJA共済の事業理念です。

わたしたちJA共済は、さまざまな地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。



ひと

元気な生活を送るために役立つ健康管理・増進活動をはじめ、介護・福祉活動など、助け合いの精神でさまざまな活動に取り組んでいます。

●健康管理・増進活動 ●介護・福祉活動



レインボー体操の普及



笑い与健康教室の開催



健康機器の設置



くるま

交通事故のない社会をめざして交通事故の未然防止活動や交通事故被害者支援活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

●交通事故未然防止活動 ●交通事故被害者支援活動



交通安全ミュージカルの開催



自動車安全運転診断の実施



「介助犬」の育成・普及支援



営農分野の活動

農業経営に貢献するために、食育イベントや農業体験の開催支援、新たな担い手のための支援をはじめ、さまざまな農業振興活動に取り組んでいます。



食育イベント・ 農業体験の開催支援

健全な食生活を実現するために食農教育活動に取り組んでいます。
農業体験学習や親子料理教室は、小学校と連携した取り組みも多く、多様な組織と連携して実施することから、地域とのつながり強化にも貢献しています。



参加者の声

- 地元の野菜や自然がもっと好きになりました。
- 息子とともに野菜を育てる体験を通じ、農業を身近に感じられるようになりました。

農作業効率化の支援

農作業の軽労化・効率化支援を目的に、先進機器等(ドローン等)を寄贈しています。
農作業時の負担を軽減したり、作業時間を短縮することで、農業者の所得増大・農業生産の拡大に貢献しています。



喜びの声

- 先進機器を利用することで、効率的に作業が行えるようになりました。
- ドローンは至近距離で農薬を散布することができるので高い効果が期待できます。

農業高校等への支援

農業の担い手育成支援を目的に、農業大学や農業高校等に対し実習用の農業機械・機具等を寄贈しています。
学習環境の整備を図り、将来の農業後継者の人材育成に貢献しています。



喜びの声

- トラクターを寄贈していただいたおかげで、大型特殊免許を取得することができました。
- 最新機械が導入されている現場でも、即対応できる技術を学ぶことが可能となりました。



くらし分野の活動

心の豊かさや絆の大切さを次世代へ伝えるために、文化支援活動など地域に根ざしたさまざまな活動に取り組んでいます。



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの大切さを伝えるとともに、書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを、交通安全への意識を高め幅広く社会に呼びかけることを目的に交通安全ポスターコンクールを開催しています。

平成30年度の第62回書道コンクール、第47回交通安全ポスターコンクールにはあわせて158万点を超える応募があり、歴史・規模・質どれをとっても日本を代表する大きなコンクールとなっています。



平成30年度 第62回書道コンクールの応募点数：約142万点

平成30年度 第47回交通安全ポスターコンクールの応募点数：約16万点

日本リトルリーグ野球協会・ 日本リトルシニア中学硬式野球協会への協賛

「野球というチームプレーを通じて健全な社会性を養い、もって国際人として強健な身体と健全な精神の涵養に寄与すること」を目的とした日本リトルリーグ野球協会および、「高校野球までの間に硬式野球ができる環境を整えること」を目的とした日本リトルシニア中学硬式野球協会の活動に協賛しています。

同協会への協賛を通じて、健康で健全な子どもたちの育成や豊かな社会づくりに貢献しています。



全国小・中学校リズムダンス ふれあいコンクールへの協賛

「小・中学生の豊かな人間性の育成や体力の向上」を目的とした全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールの活動に協賛しています。同コンクールへの協賛を通じて、助け合い・支え合いの大切さを次世代に伝えています。





ひと分野の活動

元気な生活を送るために役立つ健康管理・増進活動をはじめ、介護・福祉活動など、助け合いの精神でさまざまな活動に取り組んでいます。



レインボー体操の普及

JA共済オリジナルの健康体操です。心臓に負担をかけないやさしい動きで、全身の血液の流れをよくする体操です。立っても、座っても、寝ていてもできますので、体力に自信のない方、お年を召した方にも安全に行っていただけます。いろいろな音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、病気予防・健康づくりを推進しています。



参加者の声

- 効果を確認しながら楽しく参加できて、体が軽くなりました。
- 飛んだり跳ねたりしていないのに、体が大変温かくなって驚きました。

平成30年度の参加人数：約19,400名

笑い与健康教室の開催

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目されています。健康増進活動のひとつとして「笑い与健康」の関係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑い与健康教室」を開催しています。



参加者の声

- 健康に対する意識づけになり、笑いを取り入れることがとても大事だとわかりました。
- 楽しみながら健康になれるということで有意義な時間を過ごせました。

平成30年度の参加人数：約6,800名

健康・介護ほっとラインの開設

生活習慣病予防や肥満などの健康相談、医療機関の情報提供、育児・介護などのご相談を専門スタッフがフリーダイヤルでお受けしています。

0120-481-536

無料 受付時間 24時間・365日

看護師・介護支援専門員（ケアマネジャー）・医師（精神科・心療内科を除く）・栄養士による親身な対応

●お名前は伺いませんので安心してご利用ください。



平成30年度の電話件数：約4,700件

JA共済の宿泊保養施設の運営

「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、全国12か所の宿泊保養施設を運営しています。

<https://www.ja-kyosai.or.jp/gokeiyaku/facilities/>



いえ分野の活動

万が一に備える防災・防火対策活動のほか、自然災害などの被害にあわれた際の救援活動から復興支援に至るまで、さまざまな活動に取り組んでいます。



災害シートの無償配布※

自然災害などでお住まいが壊れてしまった方に、JAを通じて災害シートを無償で配布しています。東日本大震災、熊本地震などでも災害シートをお配りし、ご契約者さまとご家族の、災害からの復興に向けたサポートをしました。



平成30年度の配布枚数：約33,000枚

仮設住宅の無償貸与※

火災などでご自宅に居住できなくなった方に、仮設住宅を8か月間無料でお貸ししています。住宅だけでなくキッチン・トイレ・お風呂など、暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。



平成30年度の貸与棟数：約20棟

※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限りです。



くるま分野の活動

交通事故のない社会をめざして交通事故の未然防止や交通事故被害者支援など、さまざまな活動に取り組んでいます。



JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が全国を巡回し、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えます。小さなお子さまに人気のJA共済のイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」。アンパンマンたちと交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



参加者の声

- 交通安全について考える機会となり、子どもも楽しく参加できました。
- 年長の子が来年小学校まで歩いていくのが心配だったので、とてもよい機会になりました。
- 子どもが参加できるイベントがあるのは大変ありがたいです。今後も楽しみにしています。

平成30年度の参加人数：約161,500名

親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」の開催

就学前の幼稚園・保育園と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で開催しています。このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。



参加者の声

- 交通ルールの大切さを改めて知ることができ、楽しみながら鑑賞することができました。
- 子どもたちによくわかるクイズ形式などを取り入れた参加型のプログラムでとても良かったです。
- 交通ルールの場面はとてわかりやすく、子どもたちもしっかり理解できたと思います。

平成30年度の参加人数：約13,100名

自転車交通安全教室の開催

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行にともなう交通事故の実演（スタントマン）により、危険性を疑似体験させる教育手法（スケアード・ストレイト方式）を警察等と連携し、推進しています。



参加者の声

- 自転車も加害者になり得ることがよくわかりました。
- 目の前で実際の交通事故事例を見て、改めて交通事故の恐ろしさを実感しました。
- 知っているつもりで、知らなかった交通ルールを再確認できて大変勉強になりました。

平成30年度の参加人数：約85,000名

交通安全教室の開催

高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。



参加者の声

- 今回の交通安全教室に参加したことで、より気を引き締めて運転したいと思います。
- とても楽しい落語をありがとうございました。大変楽しく有意義な時間でした。

平成30年度の参加人数：約17,100名

自動車安全運転診断の実施

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に4台配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。
過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、6～10分程度の体験で安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



参加者の声

- 安全運転への心掛けを今後とも大切にしたいと思う貴重な体験でした。
- 普段の運転の見直しのきっかけとなりました。
- 注意力が低下していたことに気付くことができました。

平成30年度の参加人数：約3,100名

自転車安全運転診断の実施

自転車事故防止を目的として、全世代を対象に、自転車シミュレーター搭載車両「すまいる号」を全国に4台配置し、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。
6～10分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。



参加者の声

- 自転車は教習所がないので、交通ルールや違反について学ぶよい機会でした。
- 今後はもっと自転車の乗り方に気をつけようと思いました。
- 町の様子などがリアルで、子どもに道路の危険を教えるよい機会となりました。

平成30年度の参加人数：約11,700名

「介助犬」の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。
社会福祉法人日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ！介助犬！JA共済はたらくワンワンランド！」を開催しています。



参加者の声

- 具体的な「介助犬」の活動を知ることができてよかったです。
- 「介助犬」がもっと世の中に認知されることを願っています。

平成30年度の参加人数：約8,500名

社会復帰支援のための リハビリテーションセンターの開設

静岡県の中伊豆と大分県の別府に、交通事故等による身体障がい者の社会復帰支援を目的としたリハビリテーションセンターを開設しています。
これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。
1973年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



社会福祉法人 農協共済
中伊豆リハビリテーションセンター



社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター



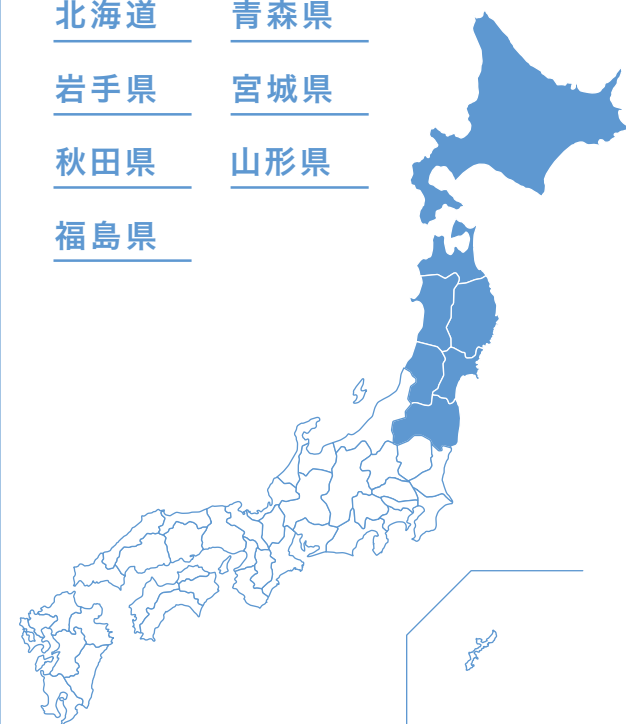
各都道府県の主な活動

安全・安心な地域社会の実現や地域の皆さまの健やかな生活を守るために、全国各地で地域のニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいます。
ここでは、その一部をご紹介します。



北海道・東北エリア

北海道 青森県
岩手県 宮城県
秋田県 山形県
福島県



北海道

農作業の負担を軽減する アシストスーツを推進

農作業の軽労化と労働力確保による農業振興を目的に、農作業で負担のかかる腰部などをサポートする「アシストスーツ」の無料装着体験をJAで実施しました。「装着体験案内チラシ」をJAで発行している機関誌に差し込んだり、定期送付している文書等と一緒に送付するなど、無料装着体験のご案内をしています。今後も地域の農業振興に貢献するため「アシストスーツ」の普及活動を展開していきます。



青森県

身体障がい者団体に対し 「介助犬」の普及支援活動を実施

「介助犬」の認知度向上と普及支援を目的に、県内の身体障がい者相談員が集まる「青森県身体障がい者福祉センター ねむのき会館」で、「介助犬」の説明とデモンストレーションを実施しました。相談員の方からは「地元地区でもデモンストレーションを実施していただきたい」との声をいただきました。



岩手県

最先端の農業実習のために 実習環境の充実を支援

農業後継者である若い担い手の育成・確保、農業生産技術に関する実習環境の充実を図ることを目的に、県内の農業高校3校と農業大学へ農業機械を寄贈しました。寄贈式では「幅広い活用が期待できる」、「教育現場を通じて、地域の農業振興につなげていきたい」等の感謝の言葉をいただきました。最新の農業機械を使い、これからの農業の現場で通用する技術を習得していただくことに期待しています。



宮城県

人と地域の絆が深まる 少年野球大会を開催

「相互扶助」の理念のもと、野球を通じて地域の子どもの健全育成と交流を図ることを目的に「ＪＡ共済少年野球宮城県大会」を開催しました。大会には、保護者の方々やＪＡ役職員が集まり、選手に熱い声援を送り、選手たちは走・攻・守すべてに活気あふれる全力プレーで、日頃の練習の成果を披露しました。熱戦を繰り広げる選手たちの姿に、試合運営に携わった多くの関係者が感動するなど、地域との絆を深めました。



秋田県

地域住民間の交流を図る スポーツイベントに協賛

地域住民間の交流や運動不足の解消を目的に「TOKYO CATCH BALL CLUB in AKITA」に協賛しました。本イベントはキャッチボールを通じて人と人をつなぎ、潤いのあるコミュニティを形成するために行われ、元プロ野球選手やタレントなどのゲストも参加しました。さらに、将来の自分へメッセージを書き込むストラップ作りのブースを設けるなど、多くの来場者との交流を深めました。



山形県

地域の交通事故を未然に防止 するためカーブミラーを寄贈

交通事故未然防止を目的に、昭和48年から毎年、県内各ＪＡと協力し、県内の全市町村にカーブミラーを寄贈しています。カーブミラーは、県内各市町村の交通安全団体からの要望を踏まえて、見通しの悪い交差点などに設置され、ドライバーだけではなく、歩行者や自転車の事故防止にも大変役立っています。



福島県

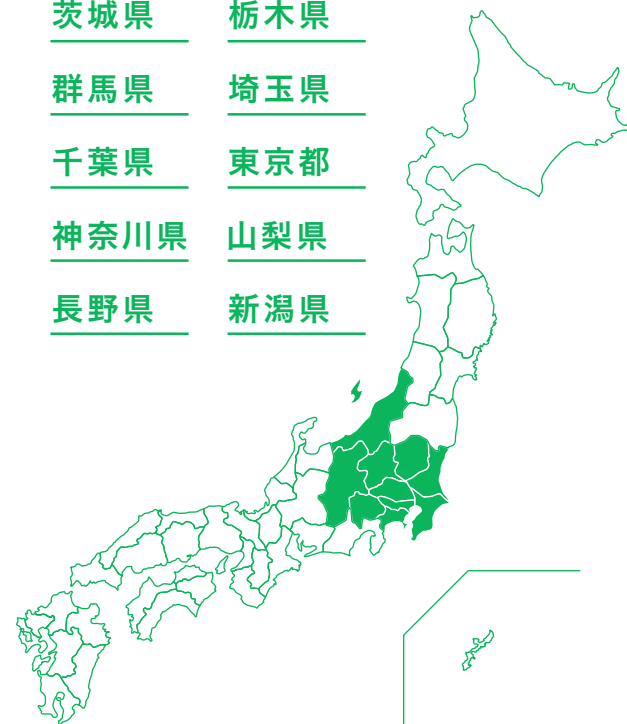
「防災戦隊ボウサイザー」が 災害の怖さを子どもに発信

防災を身近なこととして意識し、楽しみながら防災の知識を学ぶためのオリジナルキャラクター「防災戦隊ボウサイザー」のステージショーを、メディアとタイアップした総合イベントで開催しました。歌と踊りとアクションを交えて災害の怖さを伝えるとともに、自治体・関係団体と連携した火災・地震・水害の学習ができる体験型ブースを設置し、多くの親子が参加しました。



関東・甲信越エリア

茨城県 栃木県
群馬県 埼玉県
千葉県 東京都
神奈川県 山梨県
長野県 新潟県



茨城県

子どもたちの交通安全を願って 黄色い帽子を寄贈

子どもたちの交通安全を願って、昭和51年度より、県内小学校の新入学児童に対して、黄色い交通安全帽子を寄贈しています。40年以上にわたり、たくさんの黄色い帽子が、子どもたちの安全を守り続けていることから、「黄色い帽子の着用によって交通事故の減少に効果が表れてきている」、「息の長い貢献が実を結んでいる」などの感謝の言葉をいただきました。



栃木県

交通事故のない地域社会づくりに 貢献するため「交通安全自転車 シミュレーター」を寄贈

小学生や地域住民の交通事故防止を目的に、交通安全教室などで使用する「交通安全自転車シミュレーター」を寄贈しました。持ち運びに便利なワンタッチ分解組立式で、学校等の身近な場所の走行体験や安全運転に役立つ「ルールやマナーの学習」と「危険予測トレーニング」をクイズ形式で楽しみながら行うことができます。県内の小学校や特別支援学校などで利用していただいています。



群馬県

新規就農者の育成支援に向け 実習環境を整備

次代を担う新規就農者の育成支援に向け、よりよい環境で農業について学んでいただけるよう、県内の農業課程設置高校8校へ実習用農業機械等を寄贈しました。手作業で行っていた農作業の効率化が図れることや最新の農機が使えることから、大変喜んでいただきました。



埼玉県

スポーツによる地域の活性化と地域の農産物を紹介

「仲間を信頼し、助け合うことの大切さ」を子どもたちに学んでもらうとともに、地域の農産物をより一層知ってもらうために「ＪＡ共済カップ SAITAMA U-9 サッカー交流大会」を開催しました。大会は小学校１～３年生を対象に行われ、３位までのチームには副賞として埼玉県産米やふるさと認証食品などを贈呈するとともに、会場内にはＪＡによる農産物販売所が設けられ、地域の農産物の紹介も併せて行いました。



千葉県

交通遺児を支援するための募金運動を実施

組合員や地域住民、ＪＡ役職員を対象に「ＪＡ共済交通遺児育英資金募金運動」を実施しました。募金箱をＪＡ等の窓口を設置したほか、チラシやポスター等の資材を作成・提供して協力を呼びかけ、最終日には県内１１駅にて街頭募金を行いました。本活動は交通遺児の支援のため昭和５４年から継続しており、集まった浄財は見舞金・奨学奨励金・激励金・文具券として交付されています。



山梨県

無邪気な笑顔を見守る子育て応援イベントに参加

子どもたちの好奇心や想像力を育み、社会全体で子育て応援機運を高めることを目的とした子育てイベント「やまなしこどもの城フェスタ」に参加し、大きなエア遊具を設置しました。多くの子どもたちに喜んでいただくことで職員一同地域とのつながりを感じ、童心に帰って楽しい時間を共有しました。



長野県

スポーツを通じた地域の活性化のためリレーマラソンに協賛

スポーツを通じた地域の活性化のため「ＪＡ共済 Presents みんなでつなぐ５時間リレーマラソン」に協賛しました。お揃いのユニフォームを着用したチームや仮装して走る参加者も見られ、来場者を盛り上げていました。今後もスポーツなどのイベントを通じ、地域の皆さまとのつながりを深めていきます。



東京都

少年・少女サッカーの発展と健全な選手の育成をサポート

未来を担う子どもたちの健全な育成のために「ＪＡ東京カップ 東京都５年生サッカー大会」を開催しました。本大会を通じて小学校５年生の段階で必要とされる技術・戦術・マナーを確認し、サッカーを楽しむ心を育んでいます。体を寄せて厳しい競り合いの中からシュート体勢に持っていく姿など、選手たちはたくましさを見せるとともに、多くの仲間との親睦を深めました。



神奈川県

女子たちが熱戦を繰り広げる学童野球大会に協賛

スポーツ振興による地域の活性化を図るため、女子小学生を対象とした「ＪＡ共済杯神奈川県女子学童選抜軟式野球大会」に協賛しました。本大会は少年野球チームに所属する女子がチームを編成して出場するもので、参加児童からは「女の子同士で試合ができるのが楽しい」などの声をいただきました。全国大会の神奈川県代表チームの選手選考も兼ねた本大会の熱戦の様子は、テレビでも放映されました。



新潟県

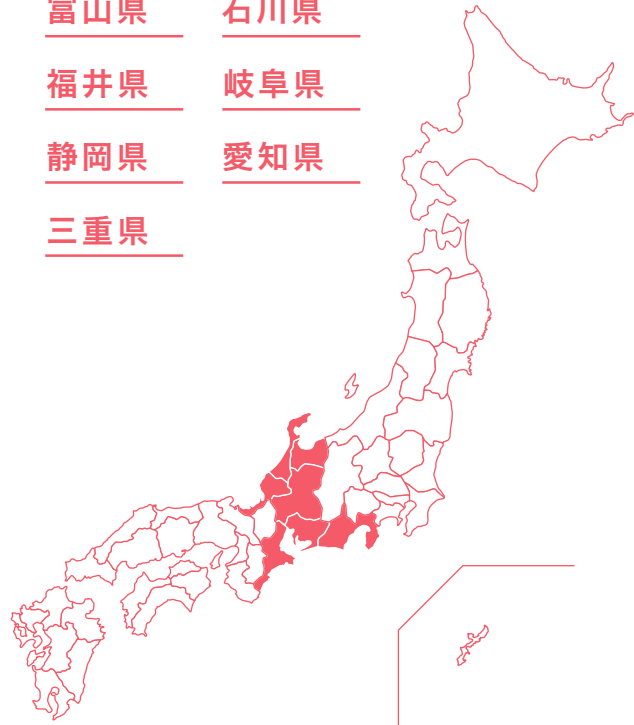
交通安全ラッピングバスを県内各地で運行

「新潟県 ＪＡ共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクール」の入賞作品を活用した交通安全啓発活動を実施しました。県内の路線バスに作品をラッピングし、地域住民の方々に交通安全の重要性を広く呼びかけました。今後も交通事故のない安全な地域社会づくりに貢献していきます。



東海・北陸エリア

富山県 石川県
福井県 岐阜県
静岡県 愛知県
三重県



富山県

交通事故のない町づくりのため カーブミラーを寄贈

交通事故未然防止を目的に平成4年より毎年、秋の全国交通安全運動期間中に県内の全市町村にカーブミラーを寄贈しており、これまでの寄贈数は累計2,700基になりました。また寄贈式では「毎年の寄贈はとてありがたい」という感謝の言葉をいただきました。今後も交通事故のない町づくりに貢献していきます。



岐阜県

子育て支援SNSを立ち上げて お役立ち情報を発信

妊婦や小さいお子さまをお持ちの方を継続的に支えるため、子育て支援SNS「JA共済こそだてひろば(岐阜県)」をスタート。登録した方にLINEで、妊娠中や育児の“ちょっとした困りごと”などに関するお役立ち情報を発信しています。平成31年4月より配布を開始した母子手帳ケースに封入されているカードにも、友だち登録用二次元バーコードが掲載されています。



静岡県

静岡県下全JAに 血圧計機器を設置

地域住民の皆さまの健康維持・促進を目的に、リスクの予防・未然防止に向けたサービス提供として、県内の全JAに血圧計機器を設置しました。利用者の方から「来店の際に機器の利用を楽しみにしています」との声をいただいています。



石川県

交通安全意識の向上のため 「仮想実体験型交通安全VR」を 寄贈

交通安全意識の向上を目的に「仮想実体験型交通安全VR」を石川県警察本部へ寄贈しました。寄贈式では、VR機器の体験スペースが設けられ、運転者の目線で交通事故を再現した映像から、その恐怖をリアルに体験いただきました。VR機器は今後、交通安全講習などで活用され、交通事故の未然防止に役立てられます。



福井県

次世代向け イベントキャンペーンへの協賛

地域の活性化を目的にラジオ局の「次の時代を担う平成生まれの若者を応援するプロジェクト」の企画に協賛しました。本イベントにはたくさんの若い世代の方々が参加し、大いに盛り上がり、交流を深めていました。今後も次世代向けイベント等を通じて、地域の活性化に取り組んでいきます。



愛知県

地元農業の活性化を図る テレビ番組を制作・放映

地元農業に対するイメージアップと地域の活性化を目的に、県下JAの特産品をテーマとしたテレビ番組を制作しました。本番組は生産者へのインタビューや特産品の収穫体験、調理方法、産直施設の紹介など、農業全般について学ぶことができるミニ番組です。また、SNSによる情報発信を順次行い、次世代層との継続的なつながりづくりも併せて行いました。



三重県

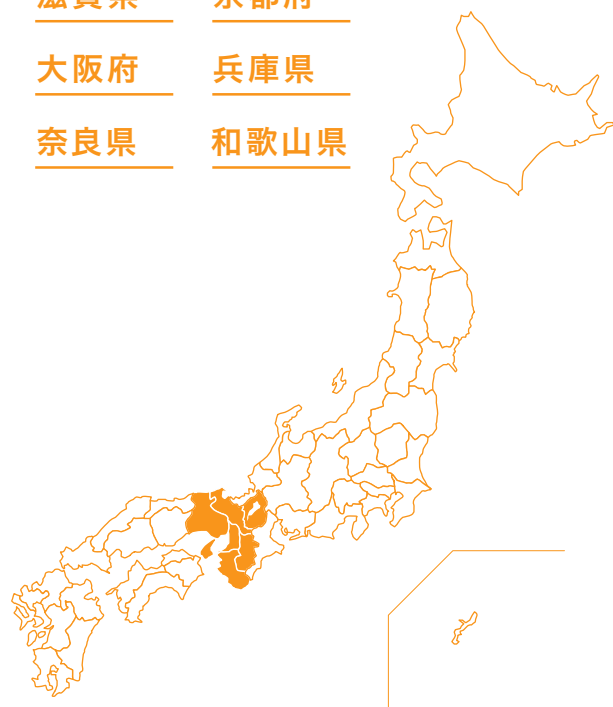
防災意識の向上のため 避難誘導看板を設置

防災意識の向上を目的に、災害時の避難場所を案内する避難誘導看板を県内の小・中学校周辺の電柱510か所に設置しました。大雨による災害や南海トラフ巨大地震における甚大な被害が想定されている中、速やかな避難を支援することで、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。



近畿エリア

滋賀県 京都府
大阪府 兵庫県
奈良県 和歌山県



滋賀県

滋賀レイクスターズの 小・中学校訪問活動に協賛

平成23年からB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールチーム滋賀レイクスターズの選手による学校訪問「JA共済 Presents レイクスキャラバン 選手学校訪問」に協賛しています。平成30年度までに訪問した学校は延べ252校、参加した児童・生徒は22,107名となり、次代を担う子どもたちの健全な心と身体の育成を支援しています。



兵庫県

実習用農業機械等の寄贈による 農業の担い手の育成を支援

実習用農業機械や設備の老朽化によって農業系学校の生徒たちが十分な実習が受けられなくなっているという現状を受け、農業系学校や施設へ実習用農業機械等の寄贈を行っています。学生たちが最新の実習用農業機械・設備を使い、安全で最先端の農業実習を受けることで、実習環境の改善、現場で通用する技術の習得につながることを願っています。



奈良県

「交通安全傘」の寄贈により 交通事故防止に貢献

児童を交通事故から守り、安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、県内の小学校1年生を対象とした「交通安全傘」を一般財団法人奈良県交通安全協会へ寄贈しました。本活動は平成26年度より継続して行っており、これまで78,900本の「交通安全傘」を寄贈しました。今後も交通事故がない地域社会づくりに貢献していきます。



京都府

多くの温かな絆を育む サッカー大会を開催

子どもたちの健全な成長を支援するために、小学校5年生以下を対象とした「JA共済カップ 京都招待少年サッカー大会」を開催しています。大会では、チーム間の選手が交流し、観客席の多くの家族連れから熱い声援が送られていました。大会を通じて、仲間や親子そして人と地域との温かい絆が生まれ、地域の活性化につながる取り組みとなっています。



大阪府

家族での防災意識向上のため 防災イベントに特別協賛

「家族で楽しく防災を学ぼう」をテーマに、防災対策について学ぶイベントに特別協賛しました。家族連れなど約12,000人の来場者には地震発生時の行動や避難方法などを広く掲載した「防災ガイドブック」と水や加熱が不要な非常食「飲めるごはん」を配布し、防災への意識向上と非常時に必要となる知識について楽しく学んでいただきました。



和歌山県

地域農業の振興のため 農機具等実習用機材を寄贈

地域農業の振興と農業経営の安定化を目的に、和歌山県農林大学校と、農業系の学科を持つ紀北農芸・南部・熊野・有田中央の県立高校4校に実習用の農業機器等18品目を寄贈しました。今後も次代を担う若者たちが農業を学ぶ環境を整えることを通じて、地域農業の振興と農業の担い手育成に貢献していきます。



中国・四国エリア

鳥取県 島根県
岡山県 広島県
山口県 徳島県
香川県 愛媛県
高知県



鳥取県

地域産業の発展を目指して 教育実習環境支援活動を実施

県内地域産業の次代を担う若者の育成支援を目的に、教育実習環境支援活動として、鳥取県立鳥取商業高等学校(鳥取市)、鳥取県立倉吉総合産業高等学校(倉吉市)および鳥取県立米子南高等学校(米子市)に、授業・実習等で使用する教育関連機械・備品等の寄贈を行いました。今後も地域の発展や農業振興に役立つような活動を行っていきます。



広島県

スポーツ振興と地域の活性化に向け「しまなみ海道自転車道利用促進協議会」の活動に協賛

年間32万人以上のサイクリストが訪れ、世界的にも注目されているサイクリングコース「しまなみ海道」。サイクリストの方々が安全にサイクリングを楽しめるよう「しまなみ海道自転車道利用促進協議会」の活動に協賛し、しまなみ海道自転車専用道路にセーフティマットを設置しています。同協会への協賛を通じて、これからも地域に密着した活動に力を入れていきます。



山口県

地域の安全を守る ボランティア活動を支援

日夜、地域の安全のために活動をしている防犯ボランティアの支援を目的に、夜間パトロールや登下校時の見回りなどさまざまな場面で活用できる反射材を組み込んだ防犯ベストを3,000着寄贈しました。「とても丈夫な生地で反射材も入っていてさまざまな場面で活用できる」、「山口県名産の夏みかんと同じオレンジ色で親しみやすい」などの喜びの声もいただきました。



島根県

犯罪の未然防止に 街頭防犯カメラを寄贈

犯罪の未然防止に役立てていただくために、公益社団法人島根県防犯連合会へ街頭防犯カメラを寄贈しました。街頭防犯カメラは事故の調査や犯罪の検挙に役立てられており、贈呈式では感謝の言葉をいただきました。今後も地域住民の皆さまが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。



岡山県

子どもを犯罪から守るため 「子ども110番の家 セーフティーコーン」を寄贈

「子ども110番の家セーフティーコーン」を県内の小学校に寄贈しました。セーフティーコーンには、子どもたちの手で110番シールを貼り、学区内の子ども110番の家に届けました。PTAや地域の皆さまから「児童が自分でシールを貼り、地域に設置することで、防犯意識がより一層高まる」などの評価をいただきました。



徳島県

子どもを交通事故から守るため 交通安全教室を実施

徳島県警察などからの後援をいただき、JAと一体になって、幼稚園児とその保護者に対して交通安全教室を開催しました。交通安全横断旗の寄贈や講演、警察官による横断歩道の渡り方の実技指導も行われ、保護者からも非常に好評でした。今後も地域社会における交通安全意識を高め、交通事故の防止をめざした本活動を継続していきます。



香川県

農の未来を次世代へ 人材育成をバックアップ

「地域農業のさらなる振興は、これからの農業を担っていく若い人材の育成なくして実現しない」との考えから、県内の農業高校5校に農業関連備品を寄贈しました。5校それぞれで行われた寄贈式では「寄贈いただいた農業機械を使って、農業学習に役立てていきたい」と、感謝の言葉をいただき、寄贈した農業機械の試乗なども行いました。



愛媛県

健康増進および地域の活性化のためリレーマラソンに特別協賛

1周約1.2kmのコースをチームで何周走ることができるかを競う「えひめ5時間リレーマラソン」に特別協賛しました。本大会は今年で6回目の開催となり、過去最多の計559チーム、4,913名が参加しました。「学校・職場の仲間と一緒に参加でき、苦しいときにお互い声を掛け合うことで絆が深まった」などの声もいただきました。今後もリレーマラソン等のイベントを通じて地域の活性化に貢献していきます。



高知県

消防・救急救命体制充実の一助となる取り組みを継続

近年災害が複雑化し、消防・救急救命活動においてさまざまな専用資機材が必要となる中で、県内3つの消防機関に山岳救助車、小型無人機（ドローン）、高度救急資機材一式などを寄贈しました。高度医療を提供できる医療機関が高知市内に集中しているため、救急搬送に時間を要する地域では救急救命士による高度な救命処置が重要な役割を担っていることから、今後も取り組みを継続していきます。



佐賀県

火災予防意識の啓発を目的に「火災予防ステッカー」を寄贈

火災予防の意識を啓発するために「火災予防ステッカー」を佐賀広域消防局に寄贈しました。本ステッカーは、幅広い年代に使用していただけるようデザイン・サイズ等を工夫し、作成しています。県内の火災件数が1件でも減少するように、本活動を継続していきます。



長崎県

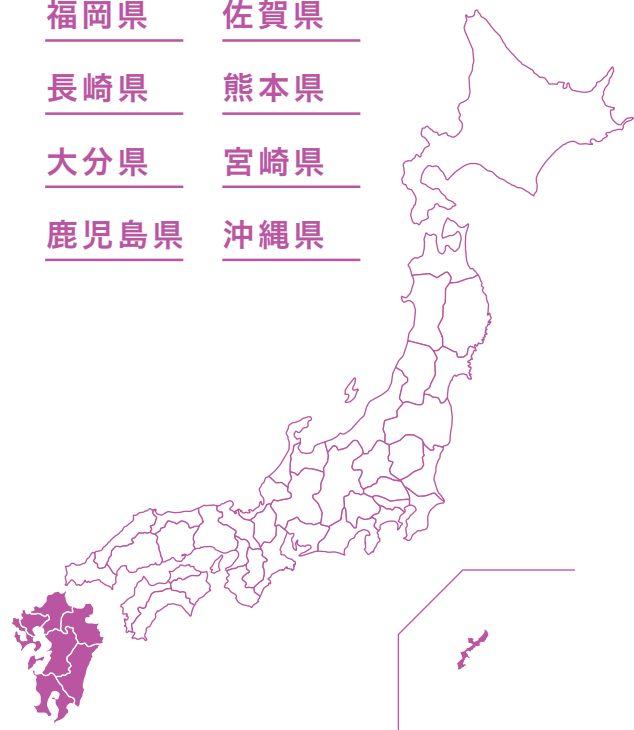
相互扶助の理念を胸に平和公園を職員が清掃

地域との絆づくりや環境美化を目的に、職員が長崎市の平和公園で清掃活動を行っています。平和公園は、悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界平和への願いを込めてつくられた公園で、毎年8月9日に式典が執り行われ、全世界に向けた平和宣言がなされています。そのような観光客も多く訪れる平和公園の清掃活動を通して、安心・安全に暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。



九州エリア

福岡県 佐賀県
長崎県 熊本県
大分県 宮崎県
鹿児島県 沖縄県



福岡県

買い物困難者支援のため「移動金融購買店舗車」を導入

購買店舗機能および金融窓口機能を兼ね備えた「移動金融購買店舗車」を導入し、買い物困難者支援活動および金融・共済事業支援を実施しています。利用者からは「JA職員と気軽に話ができるので立ち寄りやすい」などの声をいただいております。今後も地域に根ざし地域に寄り添う活動を継続していきます。



熊本県

農業高校生を応援するため「KUMAMOTO農業高校フェア」に協賛

県内の農業高校生たちが、地域住民の皆さまに農業の大切さや農業を学ぶ学校について関心を持ってもらうために企画した「KUMAMOTO農業高校フェア」に協賛しました。フェアでは実習製品の販売や学科体験が行われ、行列ができるほどの賑わいを見せました。今後もこのような活動を通じて、次代を担う農業高校生の活動を支援していきます。



大分県

健全な心身の育成を願い学童軟式野球大会を開催

子どもたちの健やかな成長とスポーツ振興による地域の活性化を目的として「JA共済杯学童軟式野球大会」を開催しました。開会式には予選大会を勝ち上がった県内の32チームが参加し、優勝・準優勝チームは九州大会に出場しました。これからも次代を担う学童の健全な心身の育成と地域住民の皆さまとのつながりづくりのため、本大会の開催を継続していきます。



宮崎県

畜産業のさらなる振興のため 家畜防疫指導車両を寄贈

宮崎県の基幹産業のひとつである畜産業のさらなる振興に資するため、宮崎県家畜保健衛生所へ家畜防疫指導車両を寄贈しました。宮崎県庁で行われた贈呈式では、関係者より「家畜防疫指導車両が不足しているので、非常に助かりました」と感謝の言葉をいただきました。今後も地域農業の振興と農業経営の安定化に貢献していきます。



鹿児島県

地域農業を担う 次世代の育成に向け 「ポテトスクール」を開催

小学校4校と中学校2校に、地元特産品であるバレイショの種芋と肥料を無償提供しました。児童・生徒の皆さんに種芋切りから植え付け、育成から収穫まで年間を通じて体験してもらいました。児童・生徒の皆さんに農業の楽しさや大変さとともに、自分たちが収穫する喜び、地場産食材のおいしさを知ってもらうことで、農産物に対する感謝の気持ちが今まで以上に芽生えていました。



沖縄県

子育て支援の一環として 親子健康手帳ケースを寄贈

お子さまの誕生を祝い「安心して育児ができるように」との願いを込めて、JAおきなわと協力して「JA共済オリジナル親子健康手帳ケース」を沖縄県保健医療部に寄贈しました。寄贈した親子健康手帳ケースは県内のJA各支店を通じて配布され、各市町村の窓口から妊婦さんに手渡されました。今後も次世代を担う子どもたちの育成のため、さまざまな活動を通して安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいきます。



WEBサイトでも、地域貢献活動にかかる さまざまな情報を紹介しています。

JA共済の地域貢献活動

『ちいきのきずな』

<http://social.ja-kyosai.or.jp/>



JA共済の地域貢献活動の詳しい内容をご覧いただけます。
また、お子さまとゲームで楽しく学べる交通安全コンテンツや、家族みんなの健康レシピなど、くらしに役立つ情報コンテンツを多数掲載しています。



47都道府県の地域貢献活動を紹介

『ちいきのために』

<http://social.ja-kyosai.or.jp/prefecture/>



JA共済が各都道府県で実施している地域貢献活動を記事形式でご覧いただけます。
また、各都道府県の郷土料理をご家庭で再現できるレシピや、お祭り、伝統芸能など各都道府県の魅力を伝えるコンテンツが満載です。

